

令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 / 施策番号 1-3

局・課名： 健康福祉局・障害施策推進課

事業名	聴覚・視覚障害者コミュニケーション支援事業 (本庁)	事業費(千円)	平成30年度決算額	令和元年度予算額	令和2年度要求額
					18,375
事業概要 【目的】 聴覚・視覚障害者の各種コミュニケーション支援や相談支援等を行うことにより、情報保障の強化や自立・社会参加を促進する。 また、平成29年4月から施行された「堺市手話言語・コミュニケーション条例」の普及啓発を行う。 【内容】 聴覚・視覚障害者のコミュニケーション支援及び「堺市手話言語・コミュニケーション条例」の普及啓発のために以下の事業を行う。 ・手話通訳者・要約筆記者派遣委託業務の委託 ・視覚障害者への対面朗読 ・「堺市手話言語・コミュニケーション条例」の普及啓発の一環としての職員向け研修 【今年度要求のポイント】 堺市手話通訳者登録試験及び要約筆記者登録試験を健康福祉プラザ指定管理業務に移管することで減額要求する。 また、手話通訳者及び要約筆記者の派遣報酬単価の見直しを行う。(1時間1,440円(移動時間を含む)→1時間1,980円+交通費実費額)	債務負担行為	期間	要求額(千円)		
		R ~ R			
	主な要求内容 (単位:千円)				
	項目	元年度予算	2年度要求額	内容・積算等	
	報償費	1,220	1,081	研修会講師謝礼金等	
	旅費	124	124	研修旅費	
	委託料(通訳者派遣)	20,870	20,727	手話通訳者・要約筆記者派遣委託料等	
	委託料(要約筆記者登録試験)	168	0		
	負担金	34	34	研修会参加負担金	
	消耗品費	2	0		
	合計	22,418	21,966		
スケジュール(経過及び今後展開)					
【経過(～元年度)】 健康福祉プラザ指定管理者による効果的かつ効率的な事業実施		【2年度】 健康福祉プラザ指定管理業務への一部事業移行		【今後予定(3年度～)】 健康福祉プラザ指定管理業務への事業移行を中心とした、より効果的で効率的な事業実施体制の構築	
その他 特記事項					
関連事業： 健康福祉プラザ管理運営事業 聴覚・視覚障害者コミュニケーション支援事業(各区)					